

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570800282		
法人名	社会福祉法人 苗場福祉会		
事業所名	グループホーム深雪 (2ユニット共通)		
所在地	新潟県小千谷市大字蕪生乙1460番地1		
自己評価作成日	令和5年9月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1570800282-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年10月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム深雪は開設して18年目を迎えました。現在コロナが第5類となり、平成28年度より小千谷市から委託を受けている、毎月開催の認知症カフェ『オレンジカフェみゆき』を今年度5月より再開しており、グループホームのお客様にも毎月数ずつ職員と一緒にご参加いただいております。また、この夏は地域のお祭りも再開し、二荒神社の豊年獅子舞や、おぢやまつりの万灯が来設してください、元中子町内の十二神社のお祭りでお神輿が回ってきてくださり、お客様にも久しぶりに楽しい時間を過ごしていただきました。ご家族との対面での面会や、短時間での外出も、健康観察を入念に行いながら再開できております。職員も感染予防の徹底に努めており、グループホームで今まで罹患した職員は一人もおりません。在宅サービスで感染が発生した場合は往來を遮断し、持ち込み防止を徹底しており、今後も継続してまいります。『認知症サポーター養成講座』も、施設全体で協力しながら活動に取り組んでいます。認知症の専門職として地域貢献に努め、地域に選ばれる施設であり続けられるように活動を継続してまいります。

お客様の日々の生活においても、お客様の行動に合わせて職員が適切に対応できるよう、毎月のユニット会議にて情報共有を行うと共に、各委員会活動にも今まで以上に積極的に取り組み、お客様の安心安全を守りながら快適にお過ごしいただけるグループホームを目指し、職員が一丸となって取り組んでおります。

○暮らしやすい環境と地域との交流再開

事業所は小千谷の中心部に近い市街地に位置し、敷地内にはデイサービス、ヘルパーステーション、居宅支援事業所、学童保育、配食サービスとそれぞれが協力体制を組み、職員間の交流や異動面でもメリットは高い。また協力医療機関が隣という好立地にも恵まれている。開設から18年近くを経過しているが壁や床等、清潔感が感じられ、丁寧に使用されていることが伺える。フロアにおいては2ユニットが背中合わせに設計されている。中央にはリビングがあり、屋外の景観を楽しむことができるゆとりの空間となっている。職員は事業所理念に沿った利用者支援を心がけている。利用者の穏やかな表情からも満足感が窺える。今年度は感染症を意識して健康観察は継続し短時間外出や対面での面会、また認知症カフェを再開し、地域の方の相談対応など利用者と共に参加できた。夏祭りにおいては御神輿や獅子舞が玄関先まで来てくれるなど、久しぶりに楽しい時間を過ごした。事業所理念「みゆき」の頭文字活用した「みんなの笑顔を大切にします。ゆき届いた気配りをします。清らかな心でお付き合いをします」を大切に実践し利用者支援に繋げている。

○その人らしい暮らしや役割のある生活を支える事業所

事業所は地域の中で信頼され、小千谷市の認知症支援の中心となり様々な役割をはたし取り組んで来た経験と歴史がある。個別性を大切にし、利用者のできる力を見守りながら支援している。特にオレンジカフェなどの地域との関わりを大切にしている。利用者も地域のお祭りなどに参加し懐かしい気持ちや暮らしに思いを抱きながら、毎日を大切に過ごしている。2つのユニットは「ちみみ棟」「つむぎ棟」、地域産業のなじみ深い名前前で呼称し、利用者の中には、布で草履や紐などを作りながら楽しんでいる方もおられる。職員はその状況を見ながら、本人自身が取り組もうとする思いや達成感を大切に考えている。食事の準備、後片付け等、協力しあえる関係性も職員は大切に見守り支援に努めている。